

令和6年度九州大学大学院システム生命科学府 博士課程学生入学試験（併願）実施要領

1. 専攻及び募集人員

専攻	募集人員	専門分野
システム生命科学	若干名	生命情報科学 生命工学

2. 併願を実施している学府及び課程

九州大学大学院工学府修士課程
九州大学大学院システム情報科学府修士課程
九州大学大学院数理学府修士課程
九州大学大学院生物資源環境科学府修士課程

※本学府の併願受験を志望される場合は、併願を申請した学府の入学試験を必ず受験してください。（併願元の入学試験を受験しなかった場合、本学府を受験することはできません。）併願の申請方法、出願期間、受験資格等については、各大学院の募集要項をご確認願います。

3. 選抜方法

- （1）選抜は提出書類及び学力検査の結果により総合的な審査を行う。
- （2）学力検査は口述試験により行う。
英語については、受験者の TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBT の成績をもとに採点する。

4. 学力検査科目

専門分野	試験科目	試験日時
生命情報科学	口述試験	9月26日(火) 13:30～
生命工学	英語 受験者のTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBT成績をもとに採点する	—

※詳細については、試験実施当日に文書により通知する。

5. 出願手続

併願を希望する者は、TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証明書の写しを様式「TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBT成績証明書（複写）貼付用紙（併願用）」に貼付の上、受付期間内に提出先へ持参または郵送すること。郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒表面に「九州大学大学院システム生命科学府博士課程（併願）出願書類在中」と朱書すること。

※TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBTに関する注意事項

1. TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBTは、公式認定証が発行される正式な試験を受験すること。
(TOEIC IP, TOEFL ITP, TOEIC Speaking and Writing のスコアは認められない。)
2. 成績証明書は、受験者が自分に最も有利と考えるものを1部提出すること。
3. 令和3年9月以降に受験したTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証明書を提出すること。
4. 成績証明書の原本も受験時に持参すること。
5. 出願時に成績証明書が間に合わない場合は、「TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBT 成績証明書(複写) 貼付用紙(併願用)」のみを理学部等教務課学生支援係に提出し、受験時に成績証明書の原本及び写し一部を、必ず持参すること。
6. 試験当日に成績証明書の原本を持参しなかった場合及び指定している試験以外の成績証明書を持参した場合は、口述試験の受験を認めず、不合格とする。

6. 書類受付期間

令和5年8月29日(火)～令和5年9月1日(金) 午後5時まで
(郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと。)

7. 合格発表

令和5年10月6日(金) 10時に、九州大学伊都キャンパスウエスト1号館C棟2階のメインエントランスに掲示するとともに、合格者には本人宛に文書で通知する。また、大学院システム生命科学府のホームページ(<http://www.sls.kyushu-u.ac.jp>)にも合格者の受験番号を掲載する。(期間は2週間程度。) なお、電話による問い合わせには一切応じない。

8. 入学予定日

令和6年4月1日

9. 入学料及び授業料

入学料： 282,000円(予定)

授業料： 267,900円[年額535,800円](予定)

※上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されるので留意すること。

10. 注意事項

- (1) 出願前に研究指導を希望する本学府教員に研究内容等につき確認してください。
また、併願による受験を行う場合は、研究指導を希望する本学府教員にその旨を連絡しておいてください。
- (2) 本学府の併願受験を志望される場合は、併願を申請した学府(工学府、システム情報科学府、数理学府、生物資源環境科学府)の入学試験を必ず受験してください。
(併願を申請した学府を受験しなかった場合、本学府は受験できません。)
- (3) 出願元の学府の受験結果によっては、本学府を併願できない場合があるので、各学府の募集要項を十分確認願います。

- (4) 本学府における研究分野の詳細については、実施要領末尾別表及び大学院システム生命科学府ホームページに記載しています。(http://www.sls.kyushu-u.ac.jp/)
- (5) 本学府所定の様式「TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBT 成績証明書(複写) 貼付用紙(併願用)」は、本学府ホームページからダウンロードできます。
(http://www.sls.kyushu-u.ac.jp/application.html)
なお、大学院工学府修士課程及び大学院システム情報科学府修士課程を併願する場合は、九州大学工学部等教務課教務係にて様式を配布していますので、そちらで受け取ることも可能です。
- (6) 本学府では、入学時に希望した指導教員を変更することは認められないため、受験する際には、志望する「教育グループ」及び「指導教員」を熟考の上、決定してください。
- (7) 試験当日は、13:15までに受付を行ってください。(受付場所については、後日通知いたします。)
受付時には、TOEIC Listening & Reading Test または TOEFL-iBT の成績証明書の原本をお持ちください。(願書提出時にTOEIC Listening & Reading Test または TOEFL-iBT の成績証明書未提出の者は、成績証明書の写しも併せて持参すること。)より成績の良い証明書があれば、最初に提出したものと別の成績証明書を持参いただくことも可能です。
- (8) 受験番号等の試験の詳細については、試験当日までにメール等でお知らせします。
なお、口述試験は13時30分より開始します。順に面接会場にご案内しますので、受験者は控室にて待機しててください。口述試験終了後は、すみやかに退場願います。
- (9) 本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を受け付けています。
受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に理学部等教務課学生支援係まで、ご連絡ください。
- (10) 新型コロナウイルスの影響による変更等が生じた場合は、九州大学システム生命科学府のホームページで案内します。(http://www.sls.kyushu-u.ac.jp/)

11. 提出書類における個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

1. 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
2. 成績証明書を、1年次における授業料免除等の就学支援業務で利用します。
3. 出願書類に記載の個人情報を、個人が特定できないかたちで、本学における入学者選抜に関する統計調査・研究に利用します。

出願書類に記載の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令により認められる場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

【問合せ及び願書請求・提出先】

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

(ウエスト1号館B棟3階 306号室)

九州大学理学部等教務課学生支援係

電話 (092) 802-4014

Fax (092) 802-4016

E-mail: rixgksien@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学大学院システム生命科学府の学生受入方針について

(アドミッション・ポリシー)

【求める大学院生像】

1-2年次教育

生命関連科学は日進月歩の学問分野であり、基礎研究から広範な社会課題解決まで極めて広い領域をカバーして、健康かつ持続可能な社会構築に最も重要な学問領域である。本専攻では、生命関連科学の分野で活躍できる高度技術者を目指す大学院生として、(1) 専門領域に限定されず、未知の物事に対して関心を持ち柔軟に取り入れることのできる姿勢、(2) グローバルな場面で活躍できる語学力やコミュニケーション能力、(3) 分野の垣根を乗り越えて問題解決に立ち向かう強い意思、(4) 論理的に生命関連科学に取り組める基礎知識など、未知の物事に対して審理を求める知的探求心と、地球規模の社会的問題や課題に対して、他者と協力しながら、積極的に関与していこうとする態度と資質を有する学生を積極的に評価し、受け入れる。

3-5年次教育

1-2年次教育での入学希望者に求める上記の態度や資質に加え、(5) 専門分野の理論や方法論、研究成果に関する幅広い知識、(6) 専門に隣接する分野についての学際的な基礎知識とそれを応用する姿勢、(7) 研究テーマに関連する知識や収集したデータをもとに論理的に仮説を導き、それを実験結果により検証していく能力、(8) 得られた成果をもとに論理的に文章を作成し、成果を発信できる語学力を含む学術的なスキルに基づき、自主的に研究活動を推進する態度や資質を有する学生を積極的に評価し、受け入れる。

【入学者選抜方法との関係】

1-2年次

- ・一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜、高専専攻科修了生特別入学、学部3年次在学学生特別入学を実施する。
- ・一般選抜および外国人留学生特別選抜では、成績証明書や国際的に認知された英語試験の成績証明書等の提出書類に加え、専門試験、口頭試験を課す。(1) にかかわる資質や態度を見るため、専門試験に加え口頭試験を、(2) にかかわる資質や態度を見るため、TOEIC、TOEFLの成績証明提出に加え口頭試験を、(3) に関わる資質を見るため、口頭試験を、(4) に関わる資質を評価するために専門試験を実施する。
- ・社会人特別選抜、高専専攻科修了生特別入学では、専門試験を免除し、提出書類を重視して実施し、アドミッション・ポリシーに合致する意欲的な社会人や高専修了生を積極的に受け入れる。
- ・学部3年次在学学生特別入学では、一般選抜に準じて実施し、(1)～(4)のすべての資質を見る。
- ・国際コース入学試験では、提出書類と口頭試験(コースによっては専門試験も科す)により、(1)～(4)のすべての資質を見る。

3-5年次

3年次編入学の選抜(一般選抜)にあたっては、修士論文、研究計画書などの提出書類、それに基づく口述試験によって、上記(1)～(8)の資質・態度を身に付けているかどうかを検討し、合否の判定を行う。

九州大学大学院システム生命科学府概要

○教育の目的について

近年の生命科学は実験・計測機器の高度化により、膨大かつ詳細な情報を得ることで飛躍的な進展を遂げている。しかしながら、このような機器や解析法の開発、ならびにそこから得られる膨大な情報から重要な意味を抽出する作業を旧来の生物学、医学、農学分野の研究のみで行うには限界があり、情報科学および工学分野の理論と技術が不可欠である。システム生命科学府では、生物学、医学、農学、情報科学、工学の諸分野を横断的に融合した学際的な教育研究を行うことで、社会の多様な要請に応えうる独創性と柔軟性に富み、高度な能力と広い学識を備えた先端的研究者・教育者ならびに高度な専門職業人を養成する。そのために、本学府では生命情報科学講座、生命工学講座、生命医科学講座、および生物科学講座の4つの講座を置き、大学院教育を実施する。

なお、本学府には通常教育課程の他、英語による授業等により学位取得可能なシステム生命科学国際コースを、副専攻として九州大学博士課程教育リーディングプログラムによる決断科学大学院コースを置いている。

○5年一貫制の博士課程について

本学府は前期と後期を区分しない5年一貫制の博士課程である。この課程に5年以上在学し、所定の学位を修得し、かつ、必要な研究指導をうけ、博士論文を提出し、最終試験を受けて合格すると博士の学位が授与される。また、編入学者に対しては、入学前の履修状況により適宜修学指導を実施する。

なお、優れた研究業績を上げた者については、修業期間が短縮され早期に学位を授与される道が開かれている。

本学府で授与する学位はシステム生命科学を基本とし、理学、工学、情報科学のなかから選択することもできる。

○人材の育成について

本学府では、生物科学（医学、農学を含む）と情報科学、工学などの諸科学の融合的教育研究領域としての「システム生命科学」という新しい領域を担う優れた研究者と高度専門職業人の養成を目標としている。このような人材を養成するためには学際的・複合的な専門知識と研究方法の習得が必要であり、前期と後期を区別しない5年一貫制博士課程とするとともに、システム生命科学専攻1専攻としている。そこでは、初年次の講義では学部教育とは異なる分野の基礎的教科の受講を推奨するとともに、2年次後期、および3年次前期には学際開拓創成セミナーⅠ、Ⅱを必修科目として博士論文のテーマ選択へ反映させている。

このようにして、新しい学問体系の構築と既存学問の研究水準の維持・発展を兼ね合わせた学位授与システムを確立している。編入学者に対しては、入学前の履修状況により適宜修学指導を実施している。なお、優れた研究業績を上げた場合については、修業期間が短縮され早期に学位を授与される道が開かれている。本学府で授与する学位は、システム生命科学を基本とし、理学、工学、情報科学のなかから選択することもできる。また、2年修了時には所定の単位を取得し修士論文を提出し、最終試験を受けて合格すると修士の学位が授与される。修了生は、生物科学と情報科学・工学の最先端技術と理論の融合によって生まれる新しい分野、システム生命科学を担う研究者として大学等や国公立研究機関、民間企業研究部門において活躍するとともに、システム生命科学の技術を基盤にした専門職業人という進路をとっている。

教育研究内容一覧

専門分野	担当教員名	研究内容
生命情報科学	教授 鈴木 英之進 教授 伊良皆 啓治 教授 内田 誠一 教授 林 健司 教授 興 雄司 教授 ヨハシ マコト 准教授 吉田 寛 准教授 岡本 剛 准教授 手老 篤史 准教授 * 田代 康	情報科学, 統計科学の理論体系を駆使して, ゲノム解析ならびに生命の基本原理解析に関する教育研究を行うことによって, 生命機能の解明とその医療応用を目指す。そのため, 体系化された生命情報データベースを基にして, 知識発見, 学習機能, 推論機能, センシング, モデリング, モデル化・シミュレーションのためのアルゴリズム開発手法とそのプログラミング技術, それらを統合した高速・高効率・高信頼で実行可能な統合計算機システムの構築と運用方法について教育研究する。
生命工学	教授 上平 正道 教授 片山 佳樹 教授 工藤 奨 教授 荒田 純平 教授 片倉 喜範 准教授 水本 博 准教授 岸村 顕広 准教授 森 健 准教授 岡部 弘高 准教授 沼田 倫征	動物培養細胞を利用した有用タンパク質等の生産理論の確立, 抗老化・抗生活習慣病を目指した新規創薬・機能性食品の分子設計に関する教育研究を行う。また, 細胞・生体組織の力学的・熱工学的挙動の解明や培養技術の開発, 各種再生臓器に必要な生体親和性・生分解性に富む高分子材料ならびに生体用バイオセラミックス, 複合材料の開発および人工臓器の開発のための教育研究を行う。さらに, 分子レベルでの治療を可能とするナノテクノロジー技術, バイオイメージング, ナノ診断, 光応用診断などの先端生体計測の開発と複雑系的手法を取り入れた生命システム解明に関する教育研究を行う。

*は令和6年3月末日定年退職予定

	教育グループ	教員名	研究キーワード
生 命 情 報 科 学	生命情報発見学	教授・鈴木 英之進	データマイニング, 機械学習, 発見ロボット http://www.i.kyushu-u.ac.jp/~suzuki/suzuki-j.html
		准教授・吉田 寛	多変数多項式, 多項式生命モデル/Polynomial-life model, 動的恒常性維持, 再生場の理論
	生命情報処理学	教授・伊良皆啓治	脳機能イメージング, 脳情報処理, 脳機能計測, 生体情報計測, ブレインコンピュータインターフェイス, 生体医工学 http://bie.inf.kyushu-u.ac.jp
		准教授・岡本 剛	においの脳科学研究, 環境の快適性に関する脳科学的評価, 脳機能の改善・向上に関するニューロフィードバック研究, 焚き火の脳科学研究 https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~okamoto/
	生命情報数理学	教授・内田 誠一	バイオイメージインフォマティクス, 画像情報学, パターン認識, 機械学習, 実データ解析 https://human.ait.kyushu-u.ac.jp/
		准教授・手老 篤史	数理モデル, 行動制御, 認識, 単細胞, 研究者学
	生命情報電子工学	教授・林 健司	匂いイメージング, 有機電子デバイス, ナノ構造分子素子センサ https://o.ed.kyushu-u.ac.jp/
		教授・興 雄司	バイオ光センシング, レーザー, 光機能材料, 分光分析計測 https://www.laserlab.ed.kyushu-u.ac.jp/
	生命情報解析学	准教授・田代 康介	遺伝子発現制御, ネットワーク解析, エピジュネテクス制御, 細胞分化, 幹細胞 https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/mogt/index.html
	認知神経科学	教授・ヨハン ローレンス	意思決定, 認知科学, 生命倫理, 視覚的認知, 行動分析 https://dubitopress.blogspot.jp/

	教育グループ	教員名	研究キーワード
生 命 工 学	生命プロセス工学	教授・上平 正道	医用生体工学, 組織工学, 遺伝子工学, ウイルス工学, トランスジェニック動物 https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab3/index.html
		准教授・水本 博	ハイブリッド型人工肝臓, 再生医療, 幹細胞, 細胞組織体, 動物細胞培養 https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab6/sls/
	機能組織化学	教授・片山 佳樹	細胞内情報伝達, 薬物送達システム, バイオチップ, 生体・医用材料, 生体計測, バイオイメージング https://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~katayama/
		准教授・岸村 顕広	ソフトマテリアル, 薬物送達システム, 超分子化学, ナノ生理学, 濃縮物質系化学, ナノリアクター https://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~katayama/
		准教授・森 健	ソフトマテリアル, 薬物送達システム, 生体・医用材料, 細胞内情報伝達, 免疫治療, 再生医療 https://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~katayama/
	生命物理工学	准教授・岡部 弘高	バイオフィトン, 活性酸素, 光応用生体計測, ソフトマターアクチュエータ, バイオミメティクス, 生物物理 https://www.okabe.ap.kyushu-u.ac.jp/index-j.html
	生体機能工学	教授・工藤 奨	バイオメカニクス, バイオトランスポート, バイオマテリアル, 細胞力学 https://www.bfe.mech.kyushu-u.ac.jp/
	先端医療デバイス	教授・荒田 純平	機械工学, ロボット工学, メカトロニクス, 医療ロボット, 遠隔操作ロボット https://amd.mech.kyushu-u.ac.jp/
	細胞制御工学	教授・片倉 喜範	アンチエイジング食品, 抗老化, 食品機能, 動物細胞工学 https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/crt/
	構造分子生物学	准教授・沼田 倫征	CRISPR-Cas 系, 非コード RNA, トキシン-アンチトキシン系, DNAの複製と修復 https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/seibutsukagaku/

【併願用】

(生命情報科学 ・ 生命工学)

令和6年度 九州大学大学院システム生命科学府博士課程 (併願)
TOEIC Listening & Reading Test ・ TOEFL-iBT 成績証明書 (複写) 貼付用紙

受験番号 (※記入不要)	3 S L 2 4 0	学生番号	(本学学生のみ記入)		
ふりがな 氏 名		生年	西 暦	年	
英字氏名		月 日	昭・平	年	月 日
希望する教育グループ			性 別	男 ・ 女	
希望する指導教員					
試験形式 (該当するものに ○をつけること)	1. TOEIC Listening & Reading Test 2. TOEFL-iBT				
TOEIC,TOEFL の受験日	年	月	日	TOEIC,TOEFL の受験会場	

(成績証明書の複写 貼付スペース)

- 成績証明書の交付が願書提出時には間に合わないため、成績証明書 (複写) は貼付せず、試験当日に原本を持参します。

(注意) この欄に成績証明書 (複写) を貼付した場合も、試験当日に成績証明書の原本を持参すること。
出願時に成績証明書の交付が間に合わない場合は、試験当日に成績証明書の原本及び写し1部を持参することにより、成績証明書 (複写) を提出したものとみなす。
その場合は、上記の欄に記入した上で、 にチェックを入れてこの用紙を提出すること。

大学院システム生命科学府を 第2志望学府として受験する学生へ

出願前の注意

事前に志望分野の担当教員に研究内容等を問い合わせてください。

併願方法

1. 提出書類

提出書類

TOEIC Listening & Reading Test・TOFEL-iBT の成績証明書の写し※
※様式「TOEIC, TOEFL成績証明書(複写)貼付用紙」に貼付すること。

受付期間

令和5年8月29日(火)～9月1日(金) 17:00 必着

送付先

理学部等教務課学生支援係(伊都地区ウエスト1号館)

2. 試験日時・場所

口述試験を行いますので、下記の日時・場所に集合して下さい。

日時

令和5年9月26日(火) 13:30～

受付時間

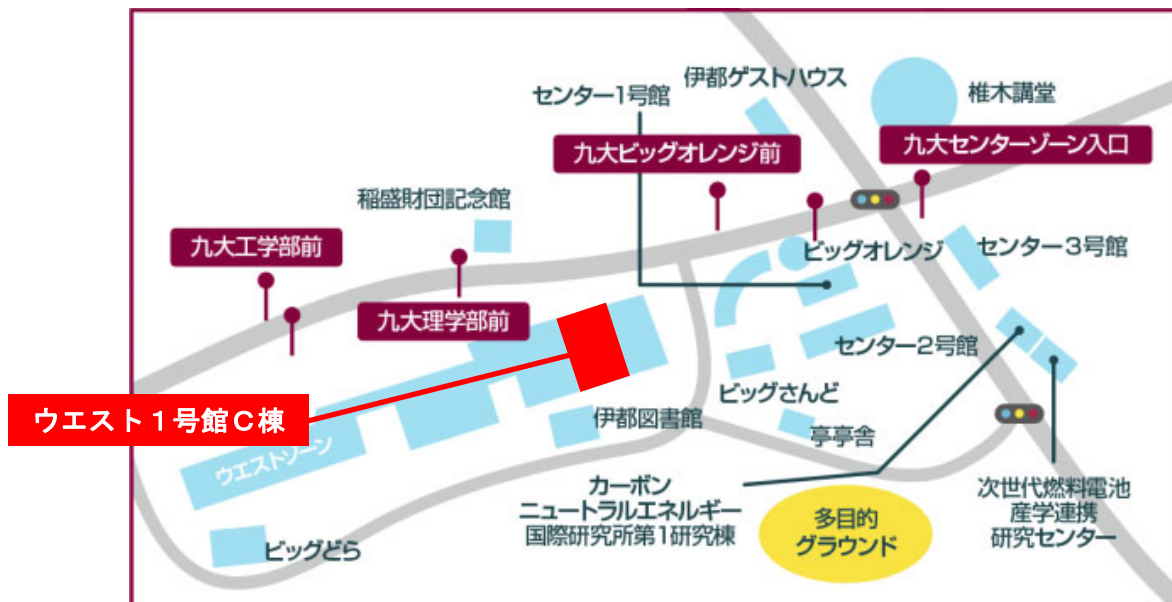
12:45～13:15

集合場所

伊都地区 ウエスト1号館C棟2階 エントランスホール
※試験会場には担当者が順次ご案内します。

持参するもの

TOEIC Listening & Reading Test ・ TOEFL-iBT の成績証明書の原本



詳細については、大学院システム生命科学府HPをご覧ください
<http://www.sls.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ

理学部等教務課学生支援係(伊都地区ウエスト1号館B棟3階306号室)
〒819-0395 福岡市西区元岡7-4-4
TEL: 092-802-4014 mail: rixgksien@jimu.kyushu-u.ac.jp